

可茂県事務所 振興防災課

〒505-8508

美濃加茂市古井町下古井 2610-1

TEL : 0574-25-3111 内線 208

FAX : 0574-25-3934

家庭教育推進専門職 安田

ワーク・ライフ・バランス思考で、
楽しく豊かな子育てを！

令和7年度
11月号 No.8

いいかも



令和7年度可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ～泣いて、笑って、ともに歩もう～



「いいかも」
こちらから



美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町

企業内家庭教育研修 講演会型 ～家族の大切さ・命の大切さ～



株式会社 のうひ葬祭 様にて
～親子で一生歩ける足を育てよう～

開催日時：令和7年9月11日（木）10時～11時40分

場所：株式会社 のうひ葬祭 西隣り(終活てらす)にて

講師：合同会社パトウサ 代表 栗田 瑞恵（くりたみずえ）氏

＜研修会の目的＞ 生き生きと仕事をし、楽しく子育てをし、人生を充実させるために、心身が健康な状態であることは必要不可欠です。人の足裏には、60～70の反射区（ツボ）があると言われています。また、爪の色、形、表面の色等、様々な要素から健康状態が判断できるといわれます。「親子で一生歩ける足を育てよう」という、足の健康を学ぶことで健康の保持増進に対する意識を高め、仕事にも家庭生活（子育て）にも良好な状態で向き合えるようにしたいと考えます。（主催者より）



靴の紐は、シートベルトと同じ！ しっかり締めましょう。

人の足は、未完成で生まれ、長い年月をかけて成長していく！

- ①足長と骨化
個人差はあるが女児で13歳、男子で、14歳頃に成長は止まる。足の骨は軟骨部が多いため柔らかい。成長と共に骨化（こつか＝硬い骨）する。
- ②脚の成長 O脚→真っすぐ→X脚→真っすぐ
- ③感覚受容器の発達
6歳までの刺激が感度を高くする。（神経系統の発達）
- ④アーチ形成
身体のバランス（日常動作）を支えるためのアーチ形成（土踏まず）
・機能的な靴とインソールの使用経過について
・足のトラブルいろいろ
・子ども靴の役割 もっとも大切な3つの機能 支持性 固定性 屈曲性
今からでも遅くない！親子で一生歩ける美しい足を育てましょう。

本研修のテーマと内容について？ 全員に「大変よい」をいただきました。

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか？

- ・生活に密着していて、誰にとっても大切なテーマだと感じた。
- ・子どもにも自分にも関するとてもよい学びになった。
- ・自分の足への意識が変わった。
- ・これまで考えたことがなかったことを教えてもらえて、足のケアや靴の大切さを改めて見直すことができた。
- ・日常聞けない足・脚・靴の話を知れた。

本日の研修内容についてご家庭や職場でどのように生かしていけそうかですか？

- ・実践的な靴の履き方を教えていただいた。今日から、このやり方に変えようと思っている。
- ・家庭で子、夫にすぐ聞かせてあげたい。子の足を早急に確認したいと思った。そして自分から気を付けていこうと思う。
- ・自分自身の靴選びやはき方の意識を変えていこうと思ったのはもちろんだが、家族にも伝えていこうと思う。（アンケートより）

正しい靴の履き方って？



「今までにない観点からの研修を受けることができました」と参加者に喜んでいただけました。全員から質問や感想が出て予定より時間は延長しましたが、先生が快く対応してくださり、充実した研修会となりました。

（取材より）

皆さんの職場でも、家庭教育の研修会を行いませんか？

詳細の問い合わせ → 可茂県事務所 振興防災課 家庭教育担当者 0574-25-3111（内線 208）

体験活動参加型 ～家族の大切さ～

坂祝町遊々こども園 どんぐりまつり2025 ～親子で身体を動かそう～

令和7年度 岐阜県主催
「レクリエーション指導者
派遣事業」の活用

開催日時：令和7年10月3日（金）
9時40分～（30分間）

対象：年中・年長園児とその保護者

参加者：約130名

場所：坂祝町中央体育館（西館）

※遊々こども園では、PTAの活動を「有志の会」で運営しておられます。

講師：各務原市レクリエーション協会 理事長 奥村 京子 氏（各務原支部より）



<活動の目的>

「皆さん、楽しんでますか？」

コロナ禍を経て、ママ同士が知らない、行事もしないのが当たり前のようになってしまいました。しかし、子どもの姿を観察し、変化をいち早く察知して対応していくことは子育てにおいて大切なことだと思います。家庭教育学級は、親子や親同士がふれあい、子どもの姿を見つめる大切な機会だと思います。今日は、レクリエーションで心身を動かし、楽しく過ごしたいなと思います。活動が広がっていくといいな！（役員さんより）



さあ皆さん
楽しく体を動か
しましょう
・ミナモ体操
（脳トレバー
ジョン）
「指でぐるぐる」
「ぐうでトント
ン、すりすり」
「あと出しじゃ
んけん」等
・運動神経を
よくする体
操
「しゃがんで立っ
て」「背中合わせでコ
アラ一周」「こどもを
足の上に乘せて手を
持って歩こう」等



- ・日ごろ保育園の送迎だけで、なかなか話すことのできなかったお母さんに、家庭教育学級で集まった機会に声をかけてみました。
- ・同じ地区で、小中でも一緒になるので、皆さんと親しくなりたいです。
- ・都合が合う限り、参加しています。普段は会えない方に挨拶できます。今日は、楽しいレクで、心も身体もほぐれました。（参加者より）



体験活動参加型 ～家族の大切さ～

御嵩町立御嵩小学校 ～スウェーデントーチ作り～

開催日時：令和7年10月6日（月）

10:00～11:00

場 所：御嵩小 図工室

講 師：御嵩町森林ボランティア 水土里隊員



森林ボランティア
みどり たい

水土里隊



水土里隊とは、御嵩町の森林ボランティア団体です。里山再生を主な目的に活動。また、景観整備や学び・癒しの場の提供にも力を入れています。山の手入れに伴って発生する木材を炭や薪にして販売もしているとのこと。

<目 的>

近年、子育てにおける木育の大切さが叫ばれています。子ども達が木にふれる機会は増えていますが時には大人も、木にふれて、自然の温かさやぬくもりを感じたいと思っています。

今年度、御嵩町は町制70周年を迎えました。記念すべき年に、町のボランティア団体の指導を受け、ものづくりを楽しみたい、皆さんと一緒に体験したいと思います。

今年度の学習委員長さんは、水土里（みどり）隊のメンバーの一員で、日頃から、定期的に活動に参加しておられるそうです。「皆さんにも木の温もりを伝えたい」と、本日の講座を計画されました。

今日は、簡易的なスウェーデントーチを作ります。自分で木を切り、こまごまとしたものを組み合わせてそれを針金でくります。各々で太さを調節してくださいね。



完成！

本来の「スウェーデントーチ」は丸太の断面に、十文字の切り込みを入れ、その隙間から炎を燃やす、というものです。



木と木の隙間に着火剤を入れ、火をつければ燃えます！

④形がまとまるよう、木の組み合わせを調整する。



①材料を集める。

②ナタで木を割る。

③木を丸太のように組み合わせ針金でくくる。

燃え方や時間は、木の乾燥具合によります。まきを束ねればキャンプやバーベキューに使えます。マシュマロも焼けます。アウトドアでの家族の楽しみが増えます！

- ・水土里隊の活動は、SNSを通じて知っていました。日ごろ、自然（木）とふれあう機会が少ないので、今日は、楽しみに参加しました。
- ・ヒノキの香りが漂う中、力いっぱい木を割る作業がストレス発散になりました。
- ・普段の生活の中で、木を切るということがないので、とてもよい体験になりました。はじめてスウェーデントーチというものを知りました。ものづくりが好きなので、次は、トンボ玉を作りたいな…。
- ・ヒノキの香りに癒されました。
- ・薪を割ったことがなかったので、はじめは加減がわからなかったけれど、丸く束に収めていい形になりました。
- ・日ごろ、加工の物ばかりに囲まれて生活しているので、自然物にふれられてよかった。

完成！



講演会型 + 子育てサロン型 ～命の大切さ～

美濃加茂市地区連合 PTA（美濃加茂市連 P） 「家庭教育講話」 ～岐阜県に迫る地震とその対策～

「令和 7 年度 岐阜県職員
出前トーク」の活用

開催日時：令和 7 年 10 月 10 日（金）
19 時半～20 時半
場所：美濃加茂市生涯学習センター 203 会議室
参加者：市連 P 役員・理事、希望者。（約 20 名）
講師：可茂県事務所 振興防災課 職員

美濃加茂市連 P では、初の試みとして、通常の役員会・理事会の中で家庭教育に関わる講座を取り入れられました。事前に自分達で聴きたい内容を吟味する等、意欲的・主体的に運営しておられました。（取材より）

＜目 的＞

- ① 家族を守る親として、地震が起きる前に、自分にとって大切な子どもや家族と一緒に心の準備をしておくことが大切だと思います。今後の岐阜県周辺では、何が起きるのか？子どもに何を伝えておくのか？等、今、自分のできる心構え、準備の具体的な内容を聴き、このことについて家族と話をするきっかけにしたいと思います。
- ② 各校の代表として、各校における家庭教育学級参集型のあり方を見つめ直すきっかけにしたいと思います。

次 第

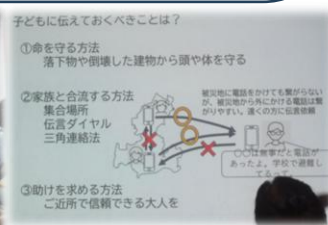
- 1 講師を招いて考える時間「家庭教育講話」
- 2 話し合いの時間
「感想交流」
（参加される方にとって負担のないよう、時間配分を工夫し、交流は、会長会と子育て代表者会の二つに分かれて実施されました）
～1・2は30分間ずつ～

「災害から命を守る防災対策」
～より良い対策を考え、共に実践していきましょう～

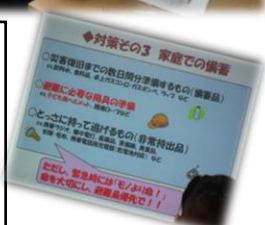
- ・岐阜県に迫る地震とその対策
日本は世界で有数の地震国
- ・岐阜県の地震環境
南海トラフ地震について
- ・命を守る地震対策
～普段からの備え～
※地震の防災対策は大切（予測できないから）
※各々のスキルを磨くことが大切
- ・子どもに伝えておくべきこと
①命を守る方法
②家族と合流する方法
③助けをもとめる方法



子育て代表者会の交流の様子



12 月には 2 回目の講座
「食の安全」
を企画しております。



質問いろいろ

- ・大地震が起きると、美濃加茂市ではどんな災害が起きるの？
- ・非常持ち出し品としてあると便利なものは？
- ・被災後にやっておくべき手続きは？
- ・避難所で生活する注意点は？
- ・学校、体育館の耐震性は？等

- ・何かあった時の連絡の取り方を共有したい。
- ・やらなければならないと思いつつ、ついつい後回しになっている。自助は大切。家を見直さなければ。
- ・近所の方と顔見知りになることの大切さを感じた。
- ・子どもどこに逃げるか相談しておかないと不安。会えないことになってしまうから。
- ・PTA による防災活動に特化した話も聴いてみたい。参考になりそう。（交流より）

【いよいよ小学生】・動画のご紹介
新入生の体験入学時や学級懇談会のテーマ等、様々な場面で活用できます。
短時間で見やすく、リニューアルされた動画を、是非、ご活用ください。
（資料掲載 こちらの二次元コードより⇒）

